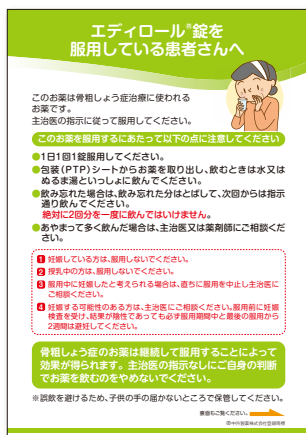


エディロール®錠を 服用している患者さんへ

監修 原宿リハビリテーション病院 前名誉院長 林 泰史 先生



本指導箋は電子化された添付文書全ての内容を網羅しているものではありません。
服薬指導にあたっては電子化された添付文書をご確認ください。



2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

妊婦、妊娠している可能性のある女性又は授乳婦〔電子化された添付文書9.5、9.6参照〕

製造販売元 中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町 2-1-1

発売

東和薬品株式会社
〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号

〔文献請求先及び問い合わせ先〕 学術部DIセンター

TEL 0120-108-932 FAX 06-7177-7379

エディロール[®]錠を処方される 医師および調剤される薬剤師の先生方へ

[高カルシウム血症、高マグネシウム血症、妊婦・授乳婦に関するご注意]

併用される際にご注意いただきたい薬剤

次の薬剤を併用される場合は高カルシウム血症、高マグネシウム血症、ミルク・アルカリ症候群（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれるおそれがあるため、特にご注意ください。

高カルシウム血症	高マグネシウム血症、ミルク・アルカリ症候群
●カルシウム製剤 （乳酸カルシウム、炭酸カルシウム等） ●ビタミンDおよびその誘導体 （アルファカルシドール、カルシトリオール等） ●PTH製剤（テリパラチド等）、 PTHrP製剤（アバロパラチド酢酸塩）	●マグネシウムを含有する製剤 （酸化マグネシウム、炭酸マグネシウム等）

カルシウム、ビタミンD および **マグネシウム** に関しては、これらの成分を含む**サプリメントの併用**、並びにマグネシウムについては**市販されているマグネシウム製剤の併用**もそれぞれご注意ください。これらを服用される場合は医師又は薬剤師に相談されるよう患者さんにご指導ください。

定期的な血液検査

本剤投与中は血清カルシウム値を**定期的（3～6ヵ月に1回程度）**に測定するために来院していただくようご指導ください。

高カルシウム血症のおそれのある患者

次の方は高カルシウム血症を発現しやすいため、投与初期に頻回に血清カルシウム値を測定するために来院していただくようご指導ください。

- 腎機能障害のある患者
- 悪性腫瘍のある患者
- 原発性副甲状腺機能亢進症の患者 等

注意すべき症状

本剤服用後、以下の症状が認められた場合は、血清カルシウム値等を測定するために来院していただくようご指導ください。

- 倦怠感
- いろいろな感
- 嘔気
- 口渇感
- 食欲減退
- 意識レベルの低下
- 頭痛 等

妊婦、授乳婦への処方について

動物実験（ラット、ウサギ）において、胎児の骨格異常、出生児の腎臓の変化および外形異常、乳汁中への移行等が報告されています。

より安全にご使用いただくために、女性患者さんに必ずご確認、ご指導いただきますようお願いいたします。

- 妊婦、妊娠している可能性のある女性、授乳中の方は禁忌です。
- 妊娠する可能性のある女性へは、本剤のリスクを説明し、避妊をご指導ください。

エディロール[®]錠を 服用している患者さんへ



このお薬は骨粗しょう症治療に使われる
お薬です。

主治医の指示に従って服用してください。

このお薬を服用するにあたって以下の点に注意してください

- 1日1回1錠服用してください。
- 包装（PTP）シートからお薬を取り出し、飲むときは水又はぬるま湯といっしょに飲んでください。
- 飲み忘れた場合は、飲み忘れた分はとばして、次回からは指示通り飲んでください。
絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- あやまって多く飲んだ場合は、主治医又は薬剤師にご相談ください。

- 1 妊娠している方は、服用しないでください。
- 2 授乳中の方は、服用しないでください。
- 3 服用中に妊娠したと考えられる場合は、直ちに服用を中止し主治医にご相談ください。
- 4 妊娠する可能性のある方は、主治医にご相談ください。服用前に妊娠検査を受け、結果が陰性であっても必ず服用期間中と最後の服用から2週間は避妊してください。

骨粗しょう症のお薬は継続して服用することによって効果が得られます。主治医の指示なしにご自身の判断でお薬を飲むのをやめないでください。

※誤飲を避けるため、子供の手の届かないところで保管してください。

裏面もご覧ください。



エディロール[®]錠の服用中に注意していただきたいこと

このお薬の主な副作用

血液中のカルシウム増加や尿中のカルシウム増加があります。

服用に際し特に注意する必要がある方

以下に該当する方は服用する前に主治医又は薬剤師にお知らせください。

- ・腎機能障害と診断された方
- ・悪性腫瘍と診断された方
- ・原発性副甲状腺機能亢進症と診断された方
(高カルシウム血症になるおそれがあります)
- ・尿路結石と診断された方
- ・尿路結石になったことがある方
(高カルシウム尿症により、尿路結石が悪化するおそれがあります)

一緒に服用する際にご注意いただきたいお薬

以下のお薬の服用については主治医又は薬剤師にご相談ください。

- カルシウムやビタミンDを含むサプリメント
上記の副作用(高カルシウム血症や尿路結石の悪化)があらわれやすくなります。
- マグネシウムを含むお薬(市販されている一部の便秘薬等を含む)やサプリメント
高マグネシウム血症やミルク・アルカリ症候群(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれるおそれがあります。

定期受診へのご協力をお願い

血液検査や尿検査等を行うことがあります。

注意いただきたい症状

服用後に次のような症状があらわれた場合には、主治医にご相談ください。

いらいらする



口がかわく



ぼーっとする



からだがだるい



吐き気がする



食欲がおちる



頭痛



〈お問い合わせ先〉

